

月次レポート

第41号
2012年4月9日作成

ユニオンファンド

追加型投信／内外／株式
分配金再投資専用

～ マークのなかに託した私たちの想い ～

4世代(おじいちゃん・おばあちゃん、熟年世代、勤労世代、
お子さんやお孫さん)をあしらいました。
ハンドinハンドで親近感や繋がり・絆を深め、
幸せの輪をひろげようという想いを込めています。



Union Asset Management Inc.
ユニオン投信株式会社

「ユニオンファンド」の「月次レポート」(2012年4月9日作成)をお届けします。

運用状況のご報告

ユニオンファンド概況



* 複利年率 +9.20%

*「複利年率」とは設定から現在まで運用を行った結果、複利で換算した場合に何%でまわっていたかを表したものです。過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また個々の受益者ごとの購入時期によって運用結果は異なります。

組入れファンドの内訳 (組入比率は3/30 付け)

ファンド名	主な地域	組入比率	目標組入比率	目標比
さわかみF	日本	13.9%	15%	-1.1%
キャピタルF	欧米	16.3%	18%	-1.7%
ハリスF	欧米	19.6%	20%	-0.4%
コムジェストF	新興国	45.0%	47%	-2.0%
キャッシュ	—	5.2%	—	—

小数点第2位を四捨五入

ファンドマネージャー コメント

新興国「南アフリカ」の現状と展望

ユニオンファンドは新興国への目標投資比率を「47%」と高めにしています。

現在の主要新興国の国別組入比率は、ブラジル・南ア・中国・ロシア・インド・メキシコの順となっています。

今回は「南ア」に焦点をあて、その現状と展望を考えてみました。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

「南ア」は資源大国

強み: 金、ダイヤモンドの世界的産地
(金生産量の世界シェア: 約 5 割)

人口: 約 5,000 万人

人種: 黒人(77%)、白人(10%)、カラード(混血、9%)、
アジア系(4%) (図 1)

宗教: キリスト教 8 割、残りはヒンドゥー教、イスラム教など

GDP: サハラ砂漠以南の全 GDP の約 3 割
(約 3 兆円、1 人当たり 60 万円)

アフリカで唯一の G20 メンバー

[産業]

鉱業... 金、ダイヤモンド、プラチナ、ウラン、鉄鉱石、
石炭など。石油なし。

農業... 畜業、とうもろこし、柑橘類。

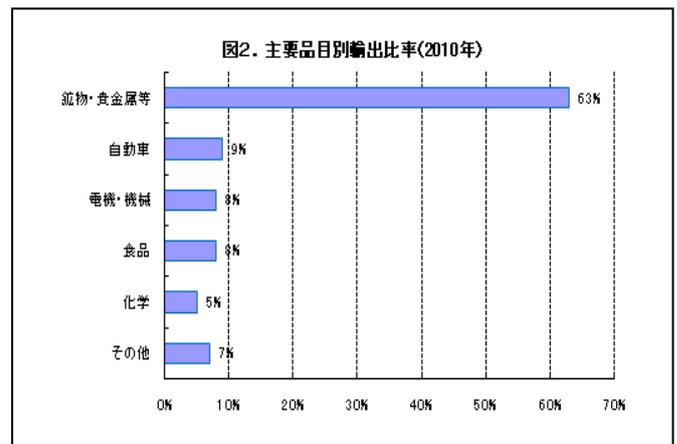
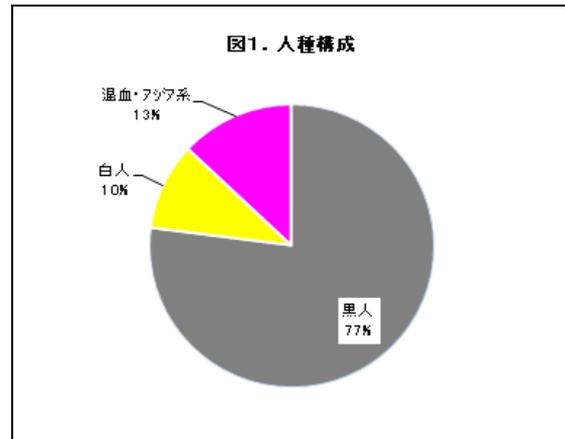
工業... 自動車(組立)、食品、製鉄、化学、繊維。

[産業別「輸出」比率]

鉱物・貴金属が 6 割強。次いで自動車、電機・機械、
食品の順 (図 2)

[産業別「輸入」比率]

原油等が約 2 割。電機・機械や自動車部品などが
3~4 割。



「南ア」の生い立ち

1600 年代: 大航海時代にオランダ人が入植(ケープ植民地)

1800 年頃: 金・ダイヤモンドを狙ってイギリスも進出

1900 年頃: イギリスがオランダとの「ボーア戦争」に勝ち、「南ア」を支配

1950 年頃: 「アパルトヘイト」政策登場(白人による黒人の隔離・差別政策)

1980 年代: 「反アパルトヘイト」運動高まる

1994 年 : 黒人政権誕生(ネルソン・マンデラ大統領)

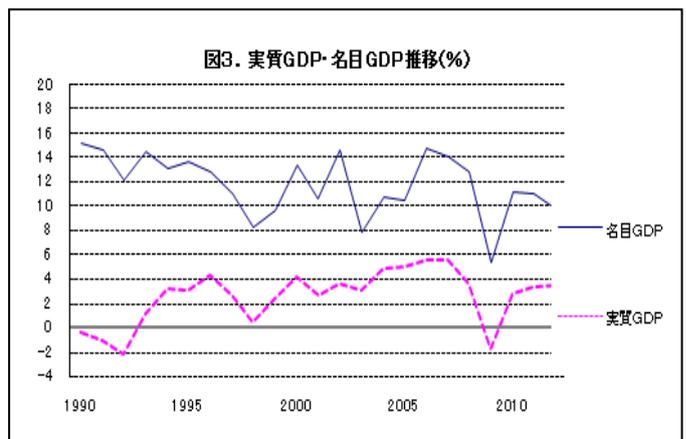
1996 年 : 「新憲法」制定(あらゆる差別を禁止)

経済成長・経常収支等

1995・96 年 「自動車産業優遇策」を推進(自動車部品等
の輸入関税を免除)

...海外大手自動車メーカーの誘致を図り、
自動車輸出基地化を狙う

(2011 年現在: トヨタ・日産、GM・フォード、
ダイムラー・VW・BMW、フィアットが進出)



◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託
受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する
法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なし
に変更することがあります。

同時に「成長・雇用・再分配」戦略を策定
 …金融・貿易の自由化、財政の健全化、
 規制緩和などを推進

→ これらを機に「成長局面」入り
 …以後 3～6%の実質成長を実現
 「物不足」から物価上昇率は8%程度
 (→名目成長率は2ケタ) (図3)

生産面…鉱山開発・自動車産業・インフラ
 投資が急拡大
 需要面…黒人層(人口の8割)を含む中間
 層の消費が急増

2003年以降「金価格上昇」で輸出が増大
 一方、「原油高」で輸入も増大
 また内需拡大で輸入増が続く
 → 貿易収支が赤字化(図4)
 しかし資本収支は黒字(図5)
 (海外自動車メーカーなどによる直接
 投資や外国人証券投資など)

財政収支

比較的健全。財政規律は保たれている。
 (政府債務残高:GDP比40%以下)(図6)

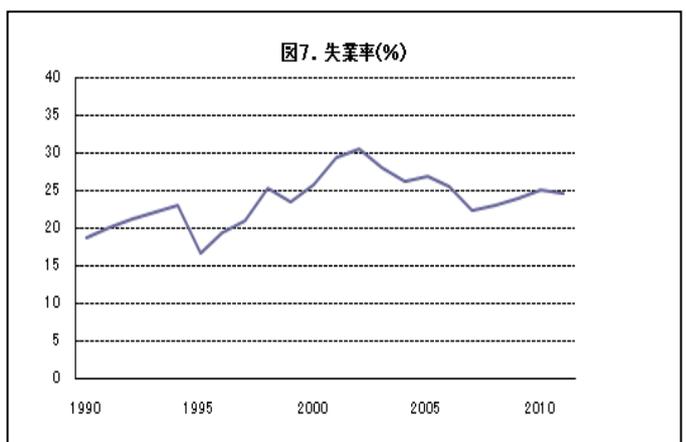
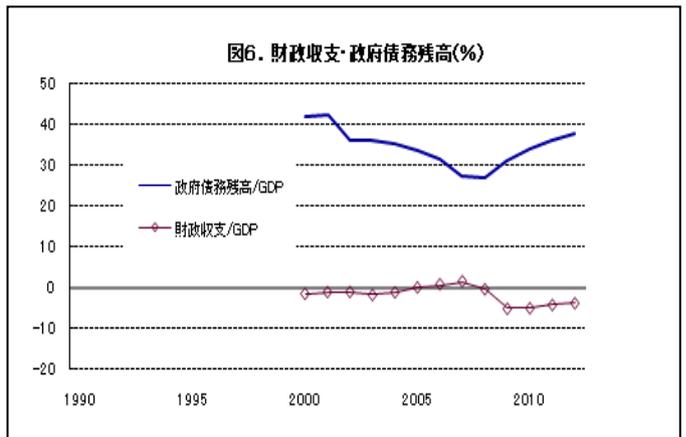
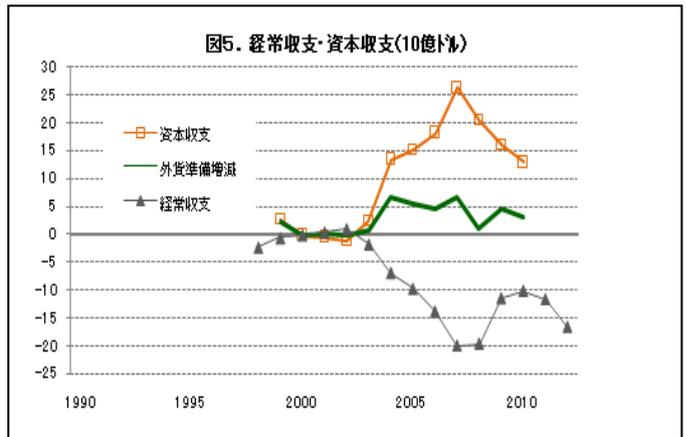
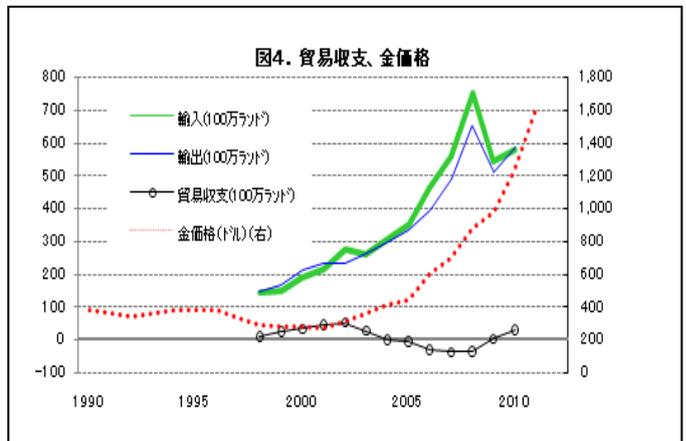
課題

高い失業率と大きい経済格差 → 犯罪多発・エイズ
 蔓延

- アパルトヘイト時代に教育を受けられなかった世代が
 多数失業。
 失業率は1990年代以降一貫して20%超。(図7)
 職探しをあきらめている層を加えれば30~40%が
 無職。
- 成功を収めた黒人富裕層と多数の失業者との所得
 格差は世界有数。
- スラム街多く、犯罪が多発しエイズが蔓延。

期待

南アはアフリカのリーダー
 今後の成長が期待されるアフリカ全土が南アの市場



◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託
 受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関す
 る法律」に基づく開示書類ではありません。
 ◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
 ◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
 また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告な
 しに変更することがあります。

株価・通貨（為替）

南アの株価はインド株価と連動した動き（図8）

南アの通貨「ランド」は中国・インドの通貨に比べやや弱く変動幅も大きい（図9）

ユニオンファンドの南ア投資

ユニオンファンドは「コムジエストF」を通じて南ア株に約6%（2012年2月末現在）投資しています。主要銘柄の「Gold Fields」と「MTN」の概要は下記の通りです。

【Gold Fields】（図10）

「コムジエストF」では資源高への備えとして金鉱株を現在約1割（計4社）組入れ中。

Gold Fieldsはその1社（他はアングロゴールド、ランドゴールド、ニュークレストマイニング）。

〈会社概要〉

南ア第2位の産金企業（1位はアングロゴールド）

金の確認埋蔵量では世界第3位

（1位：バリックゴールド、2位：ニューモントマイニング、4位：アングロゴールド、9位：ニュークレストマイニング）

金鉱山を8カ所保有・・・南ア（主力）、豪、ガーナ、ペルー

高水準の生産量を維持する安定成長産業

売上：3.5兆円、純利益4,600億円（同利益率13%）

（2010年6月期）

従業員：4万7千人

【MTN】（図11）

アフリカ最大の携帯電話通信サービス会社

アフリカ・中東を中心に事業展開

（21カ国でライセンス取得）

1.4億人と契約（10億人を超える潜在顧客）

先進国の通信業は飽和に苦しむ成熟産業だが、新興国では高成長産業。

売上：1.1兆円、純利益1,700億円（同利益率15%）

（2010年12月期）

従業員：3万5千人

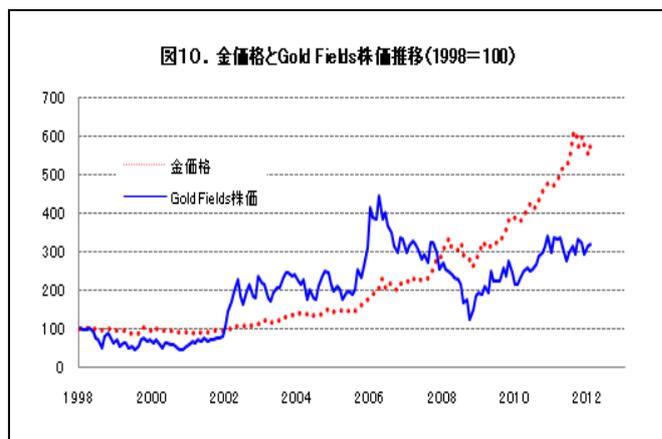
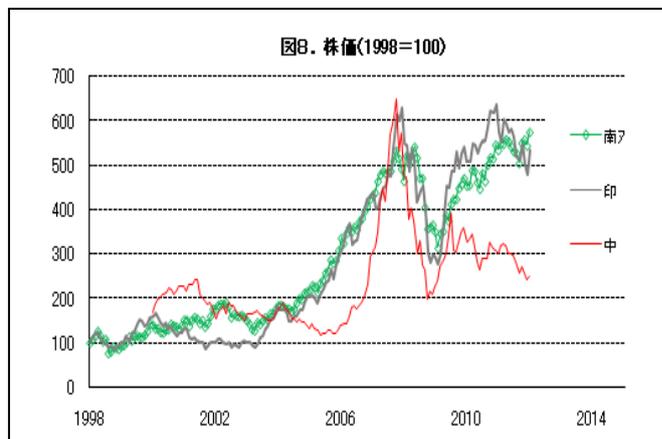


図1～11の出所：IMF、南ア統計局、ジェトロ、Yahoo ホームページ

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
 ◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
 ◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 運用報告

■ ユニオンファンドは、

①「株式」に投資する ②「グローバル」に投資する ③インデックスでなく「アクティブ」に投資する、
ファンドの中から実績を挙げてきた4つのファンドに投資しています(ファンド・オブ・ファンズ)。

■ ユニオンファンドはグローバルな成長を平均的・安定的に享受するため、世界の株式時価総額シェアを基準に地域別「目標投資比率」を決め、それに基づき投資しています。現状では、世界の株式時価総額シェアに比べ、「日本」と「新興国」のウェイトを高めとし、「欧米」を低めとしています。

「日本」 : 低成長市場だが身近な精通した市場
「新興国」 : 伸び盛りの高成長市場
「欧米」 : 成熟した低成長市場

■ 3月は各市場ごとにバラツキがみられました。

主な背景は次の通りです。

- ・米国・東京・・・好調な経済指標を背景に月を通じて上昇基調を維持。
- ・欧州市場・・・ギリシャ問題一服を好感し中旬まで上昇。その後はスペインなどの財政懸念が再浮上し弱含みで推移。
- ・新興国市場・・・中国・インドを中心に景気減速懸念から月を通じて軟調な展開。

■ 3月の基準価額推移・・・上旬まではやや下落(3/8:前月末比▲2.3%)。その後は上昇し3/21に高値13,811円(同+4.0%)へ。月末にかけてやや弱含み、月末は13,539円(前月末比+1.9%)で終了。

■ 高値警戒感もあり、お客さまからの3月受入れ資金は全て様子見としました。組入比率は平均「95%程度」で推移しました。

■ 今後の運用方針

● 今後の市況見通し

- ・下記要因などから、引き続き警戒的に考えています。
 - ①株価に割安感が薄れ、一部に高値警戒感が出てきていること。
 - ②原油高による業績圧迫リスクが高まってきていること。
 - ③欧州債務問題への不安が払拭されていないこと(ギリシャ緊縮策実施の行方やスペインなど南欧諸国の危機再燃懸念など)。

● 目標組入比率

- ・前月に引き続き「目標組入比率」を「90~100%」とします。

● 地域別目標投資比率

- 現在の「地域別目標投資比率」を維持します。
 - ・・・日本:15%、欧米:38%、新興国:47%

● ファンド選定

- 当面、現在の4つのファンドに投資していきます。

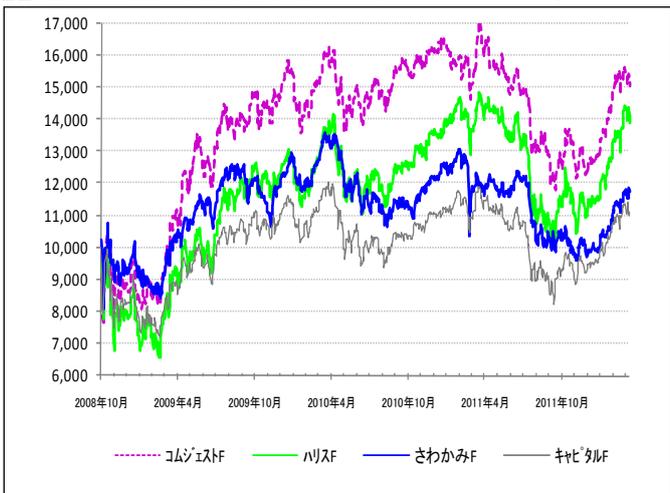
● ファンド別目標組入比率

- 現在の「ファンド別目標投資比率」を維持します。
 - ・・・「さわかみF」:15%、「キャピタルF」:18%、「ハリスF」:20%、「コムジェストF」:47%

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

「ユニオンファンド概況」補足コメント

■ 図1 組入ファンドの基準価額推移(2008. 10. 20=10,000)



>> 図1 基準価額推移

4ファンドとも年初来急回復のあと、直近揉み合いに。3月1か月間の騰落率は次の通り。
 …「コムジェストF: +1.0%」、「ハリスF: +5.3%」、「さわかみF: +2.8%」、「キャピタルF: +0.7%」。

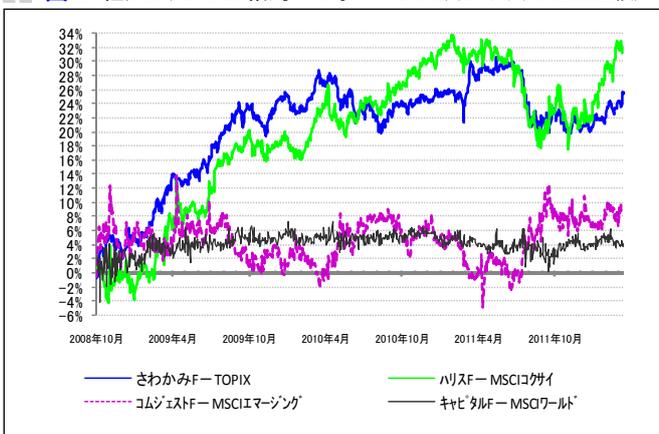
>> 図2 相対パフォーマンス

4ファンドともインデックスを上回るパフォーマンス。「さわかみF」…設定来で25%強凌駕。「ハリスF」…概ね31%凌駕。「キャピタルF」…安定的に3~6%程度凌駕。「コムジェストF」…銘柄選択効果などから今回の暴落以降7~12%凌駕。

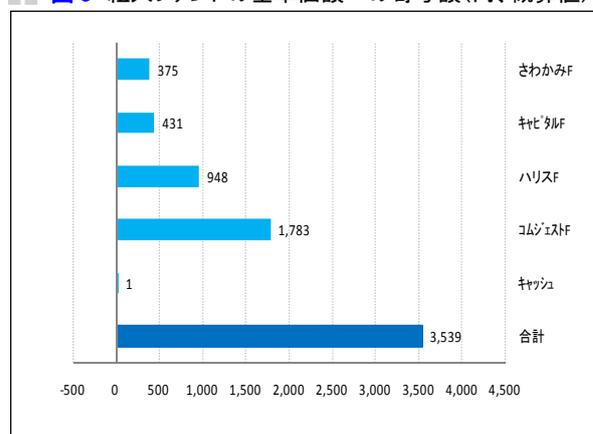
>> 図3 寄与額

3月末の基準価額が13,539円となっていることから、3,539円の評価益に。その内訳を4ファンドに分解すると第3図の通り4ファンドともプラス寄与。なかでも組入比率の高い「コムジェストF」の貢献が大きい。二番手は相対パフォーマンスの高い「ハリスF」。

■ 図2 組入ファンドの相対パフォーマンス(インデックスとの比較)



■ 図3 組入ファンドの基準価額への寄与額(円、概算値)



>> 図4 時価総額シェア・目標投資比率

「時価総額シェア」…
 新興国:長期的に上昇基調。

欧 米:低下基調。

日 本:低下基調。

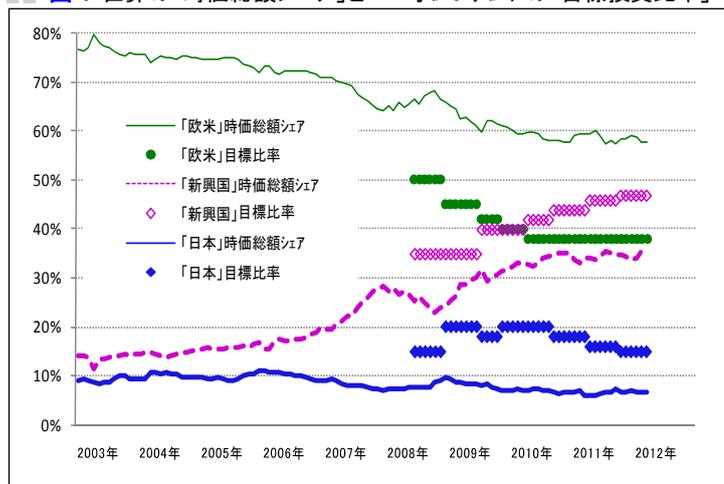
「地域別目標投資比率」…

日 本:15%(シェア比+ 8%)

欧 米:38%(シェア比▲20%)

新興国:47%(シェア比+12%)

■ 図4 世界の「時価総額シェア」とユニオンファンドの「目標投資比率」



(出所)「時価総額シェア」:ユニオン投信株式会社調べ



運用部長 (ファンドマネージャー)

坂爪 久男

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
 ◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
 ◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

組入れ4ファンドの状況

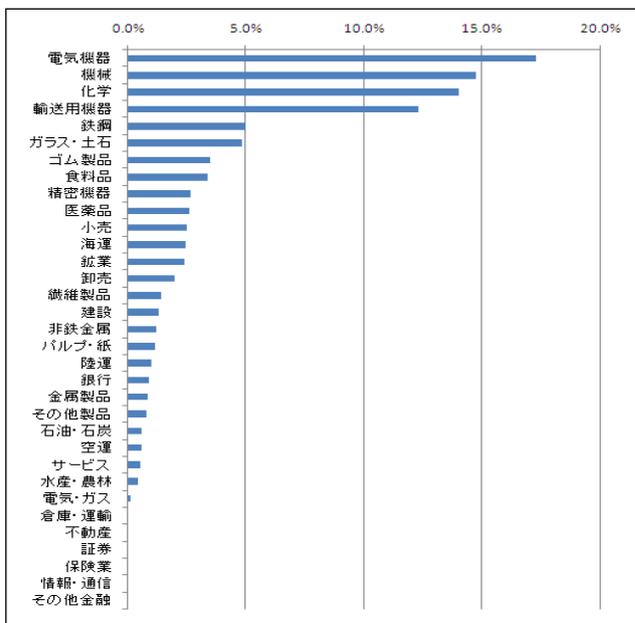
■ さわかみF（さわかみファンド）

■ 株式組入上位 10 銘柄等

2012年3月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	トヨタ自動車	4.3%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
2	ブリヂストン	3.4%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
3	三菱重工	3.1%	日本	機械	世界的総合重機メーカー
4	商船三井	2.4%	日本	海運	タンカー・LNG 船で世界一
5	国際石油開発帝石	2.3%	日本	鉱業	石油メジャー
6	花王	2.3%	日本	化学	トイレット紙首位
7	信越化学工業	2.0%	日本	化学	塩ビ・シリコンエハ―世界大手
8	パナソニック	2.0%	日本	電気機器	総合家電首位
9	デンソー	1.9%	日本	輸送用機器	日本最大の自動車部品メーカー
10	ホンダ	1.7%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
上位 10 銘柄		25.3%			
その他 145 銘柄		72.9%			
キャッシュ		1.8%			

■ 業種別構成比



業種：東証 33 業種

構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

>> ユニオン投信株式会社としてのコメント

◆組入銘柄数は約 150。

業種のメリハリを効かせることで個性あるポートフォリオを作り上げている。

◆具体的には、

- (1) 「電気機器」「機械」「化学」「輸送用機器」「鉄鋼」など“ものづくり”、“輸出型”企業の比率大。
- (2) “内需型”企業では「金融」「通信」「不動産」「倉庫」「公益」などの比率を抑え、「食料品」「医薬品」「小売」など“生活関連”にシフト。

◆1月までの株価低迷時に新規買い付け・入れ替えを終了。2月以降の株価回復局面では全体様子見。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
 ◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ キャピタルF (キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラスA)

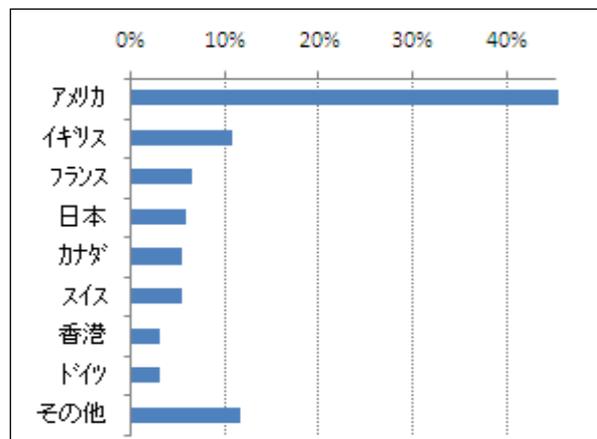
■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種:MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

2012 年 2 月末現在

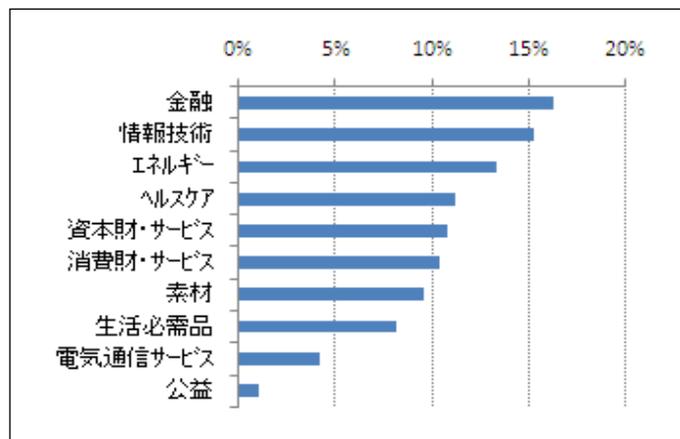
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	Google	2.2%	アメリカ	情報技術	世界最大のネット検索
2	Imperial Tobacco	2.2%	イギリス	生活必需品	タバコ大手
3	United Technologies	1.9%	アメリカ	資本財・サービス	コングロメイト
4	Genovus Energy	1.8%	カナダ	エネルギー	石油ガス
5	Pernod Ricard	1.7%	フランス	生活必需品	洋酒大手
6	Schlumberger	1.6%	アメリカ	エネルギー	石油掘削大手
7	Gilead Sciences	1.6%	アメリカ	ヘルスケア	バイオ医薬
8	IBM	1.5%	アメリカ	情報技術	世界最大のソフトウェア
9	Danaher	1.5%	アメリカ	資本財・サービス	コングロメイト
10	American Tower	1.5%	アメリカ	電気通信サービス	携帯サービス
	上位 10 銘柄	17.5%			
	その他 160 銘柄	77.8%			
	キャッシュ	4.7%			

■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)



業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 日本を含む先進国に幅広く投資 (約 150~200 銘柄)。
- ◆ インデックスに対し大きな偏りをとらず、長期間の安定的な超過収益を狙うファンド。
- ◆ 半年前に比べ、「生活必需品」「通信」などの安定セクターが低下。
一方、「金融」「消費財」「エネルギー」などの景気敏感セクターが増加。
「金融」は環境好転から 1 月より組入れトップに (1 年半ぶり)。

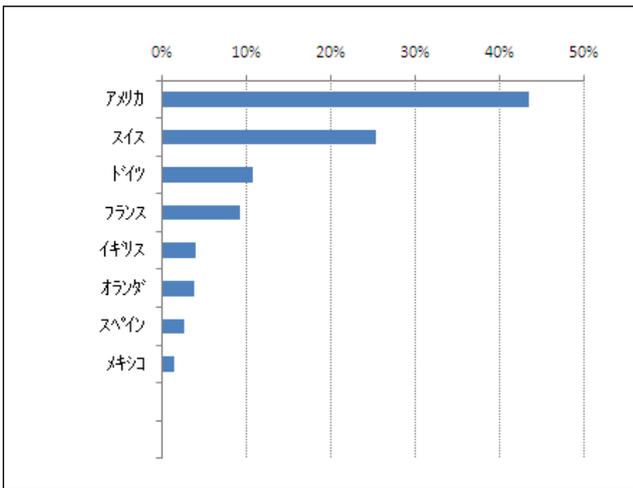
◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆ 当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書 (交付目録見書) の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 グループ 2012 年 2 月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	INTEL	6.5%	アメリカ	半導体・同製造装置	世界最大の半導体メーカー
2	CREDIT SUISSE	4.1%	スイス	各種金融	金融大手
3	DAIMLER	3.9%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手
4	ADECCO	3.8%	スイス	商業・専門サービス	人材派遣世界展開
5	ALLIANZ	3.8%	ドイツ	保険	総合保険大手
6	STARWOOD HOTELS	3.7%	アメリカ	消費財・サービス	世界有数のホテルチェーン(シェラトンなど)
7	AKZO NOBEL	3.7%	オランダ	素材	化学・塗料メーカー
8	PUBLICIS	3.4%	フランス	メディア	広告代理店
9	WELLS FARGO	3.4%	アメリカ	銀行	米金融大手
10	APPLIED MATERIALS	3.4%	アメリカ	半導体・同製造装置	世界最大の半導体製造装置メーカー
上位 10 銘柄		39.7%			
その他 28 銘柄		56.6%			
キャッシュ		3.7%			

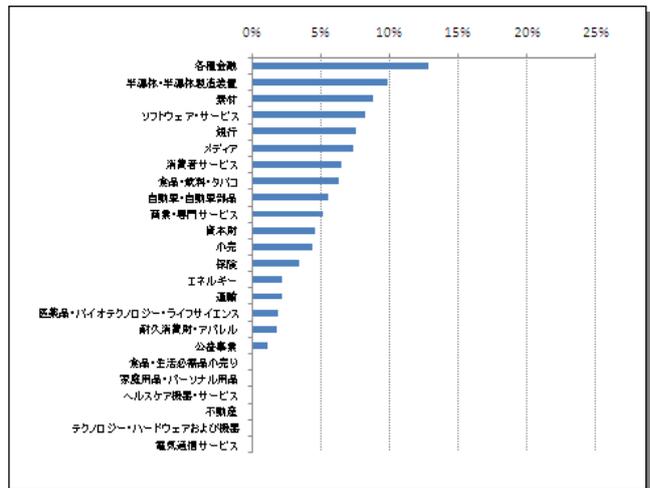
■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)

※2012 年 3 月末現在



業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 産業グループ
構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 割安な 40 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。日本除きの世界各国に投資。
- ◆ 「金融」セクターが引き続き最大の投資セクター(組入比率: 約 24%)。
「金融」セクターのなかでも業績好調なカード会社や資産運用会社などの比率を高め銘柄選択効果を効かせている。
- ◆ それ以外では、業績好調な「半導体」「素材」、安定的業績の「ソフトウェア」「メディア」「食品」などのウェイトを高めている。
- ◆ 業種を問わず目標圏に到達した銘柄を利食い、割安株を買い付けているが、最近では「小売(特に高級ブランド)」「自動車部品」セクターなどが増加。

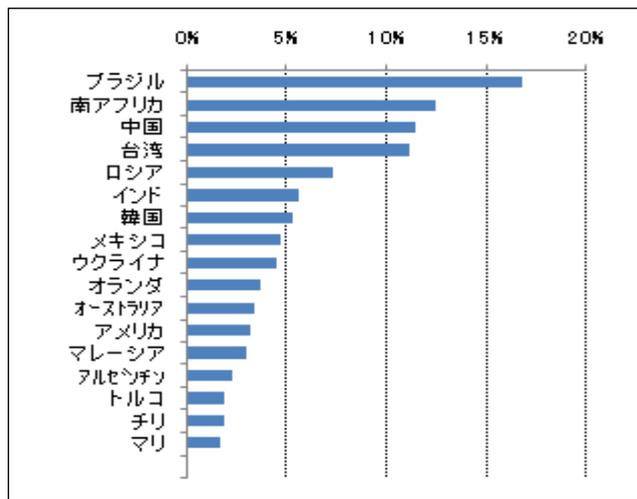
◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆ 当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種:MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター 2012 年 3 月末現在

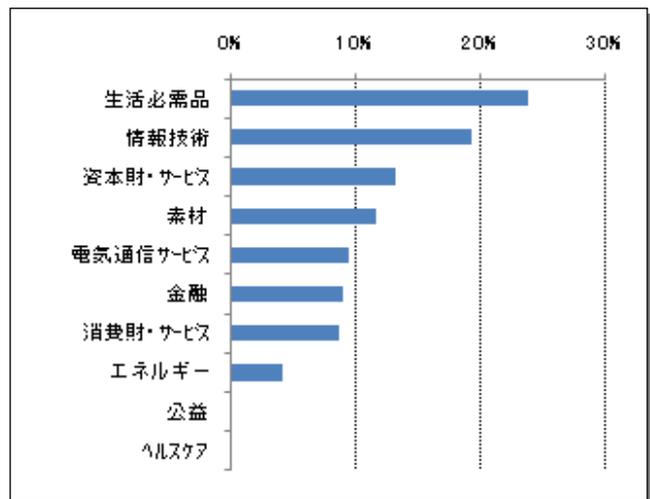
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	6.2%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2	JBS	3.9%	ブラジル	生活必需品	食肉加工
3	CHINA LIFE	3.7%	中国	金融	生保
4	HEINEKEN	3.6%	オランダ	生活必需品	ビール世界 3 位
5	NASPERS	3.5%	南ア	消費財・サービス	メディア
6	BHARAT HEAVY ELECTRICALS	3.4%	インド	資本財・サービス	重機械・電力設備
7	CCR	3.4%	ブラジル	資本財・サービス	高速道路運営管理
8	NEWCREST MINING	3.2%	豪	素材	金鉱開発
9	BUNGE	3.0%	アメリカ	生活必需品	植物油脂精製販売
10	TENCENT	3.0%	中国	情報技術	ネット・プロバイダー
	上位 10 銘柄	36.9%			
	その他 28 銘柄	59.7%			
	キャッシュ	3.4%			

■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)



業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター
構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆新興国の割に 50 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。
- ◆財務体質健全、積極的な情報開示、株価割安な企業に選別投資。
- ◆高成長新興国を中心としたポートフォリオ。
- ◆新興国市場は「資源・エネルギー」や「金融関連」に大きく偏っているが(各国とも概ね 5~6 割程度)、当ファンドは「生活必需品」「通信関連」などの安定成長セクターに高ウェイト(資源・金融は 1~2 割程度)。このため新興国市場が市況高(資源・原油高)で上昇する場合は追従できないことが多い。しかし市況の下落局面では当ファンドは下げ渋ることが多く、長期的な相対パフォーマンスは良好。
- ◆現在は「生活必需品」のほか、成長性の高い「情報技術」にもシフト中。
- ◆今回の下落局面でも銘柄選択効果が発揮され、高い相対パフォーマンスを実現中。
- ◆組入れ 4 位[ハイネケン]: オランダ籍だが、営業利益の過半が新興国(特に東欧・アフリカ・ロシア等)。
- ◆組入れ 9 位[BUNGE]: アメリカ籍だが、南米等新興国で活躍する農産加工物大手。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託の受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目録見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

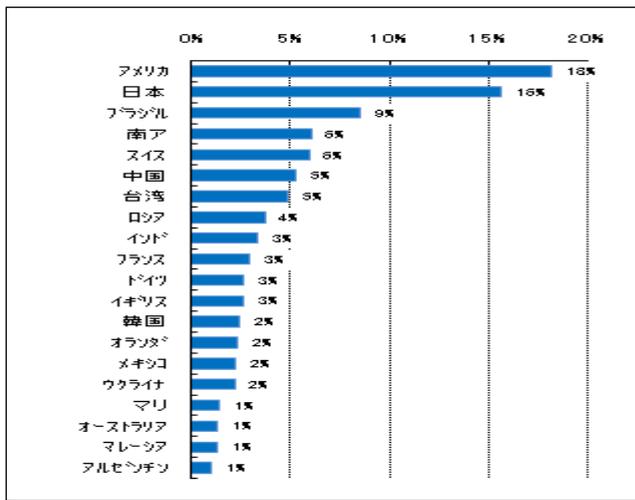
ユニオンファンド(組入4ファンド トータル)の状況

■株式組入上位 30 銘柄等

業種:MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター 2012 年 2 月末現在

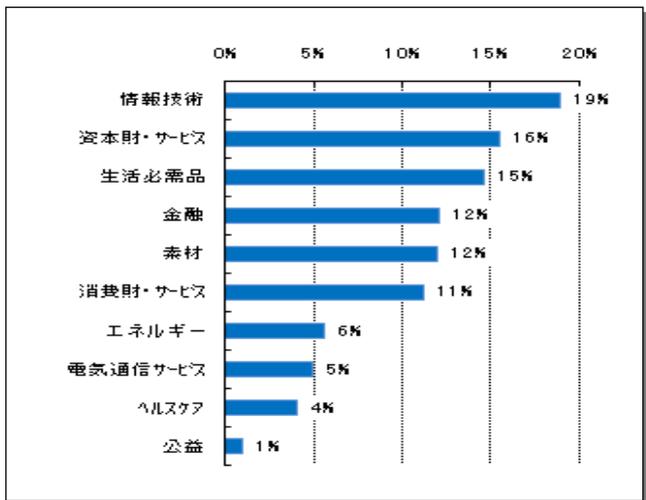
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等	主要組入F
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	2.6%	台湾	情報技術	半導体メーカー	コムジェストF
2	JBS	2.3%	ブラジル	生活必需品	食肉加工	コムジェストF
3	CHINA LIFE	2.0%	中国	金融	生保	コムジェストF
4	BHARAT HEAVY ELECTRICALS	1.9%	インド	資本財・サービス	重機械・電力設備	コムジェストF
5	NASPERS	1.6%	南ア	消費財・サービス	ヘア	コムジェストF
6	GOLD FIELDS	1.6%	南ア	素材	金鉱開発	コムジェストF
7	HEINEKEN	1.6%	オランダ	生活必需品	ビール世界 3 位	コムジェストF
8	CCR	1.5%	ブラジル	資本財・サービス	高速道路運営管理	コムジェストF
9	SAMSUNG LIFE	1.4%	韓国	金融	生保	コムジェストF
10	TENCENT	1.4%	中国	情報技術	ネット・プロバイダー	コムジェストF
11	INTEL	1.3%	アメリカ	半導体・同製造装置	世界最大の半導体メーカー	ハリスF
12	CREDIT SUISSE	0.8%	スイス	各種金融	金融大手	ハリスF
13	DAIMLER	0.8%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手	ハリスF
14	ADECCO	0.8%	スイス	商業・専門サービス	人材派遣世界展開	ハリスF
15	ALLIANZ	0.8%	ドイツ	保険	総合保険大手	ハリスF
16	STARWOOD HOTELS	0.7%	アメリカ	消費財・サービス	世界有数のホテルチェーン(シェラトンなど)	ハリスF
17	AKZO NOBEL	0.7%	オランダ	素材	化学・塗料メーカー	ハリスF
18	PUBLICIS	0.7%	フランス	メディア	広告代理店	ハリスF
19	WELLS FARGO	0.7%	アメリカ	銀行	米金融大手	ハリスF
20	APPLIED MATERIALS	0.7%	アメリカ	半導体・同製造装置	世界最大の半導体製造装置メーカー	ハリスF
21	トヨタ自動車	0.6%	日本	輸送用機器	自動車世界大手	さわかみF
22	プリヂェストーン	0.5%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位	さわかみF
23	三菱重工	0.4%	日本	機械	世界的総合重機メーカー	さわかみF
24	Google	0.4%	アメリカ	情報技術	世界最大のネット検索	キャピタルF
25	Imperial Tobacco	0.4%	イギリス	生活必需品	タバコ大手	キャピタルF
26	商船三井	0.4%	日本	海運	タンカー・LNG 船で世界一	さわかみF
27	国際石油開発帝石	0.4%	日本	鉱業	石油メジャー	さわかみF
28	United Technologies	0.3%	アメリカ	資本財・サービス	コングロマリット	キャピタルF
29	花王	0.3%	日本	化学	トイレット紙首位	さわかみF
30	Cenovus Energy	0.3%	カナダ	エネルギー	石油ガス	キャピタルF
	上位 30 銘柄	30.0%	(注)各組入F開示資料に基づくランキング			
	その他 373 銘柄	65.6%				
	キャッシュ	4.4%				

■国別構成比 (上位 20 カ国)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■業種別構成比



業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター
構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

>> コメント

- ☆組入銘柄数: 403、投資国数: 25 カ国。
- ☆組入上位 30 銘柄明細: 40 銘柄程度に絞り込んでいる「コムジェストF」「ハリスF」組入銘柄が上位に。
- ☆国別構成比: アメリカが 1 位で 18%、日本が 2 位で 16%、3 位以下はブラジルの 9% など新興国が続く。
主要新興国ではブラジル・南ア・中国・ロシア・インド・メキシコの順。
- ☆業種別構成比: 「情報技術」を筆頭に「資本財」「生活必需品」「金融」「素材」などが続く。
半年前に比べた特徴: 安定セクターの「通信」「ヘルスケア」「生活必需品」が減少し、景気敏感の「金融」「資本財」「消費財」「エネルギー」が増加。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

「つみたて投資」実績

ユニオン投信株式会社 取締役
清水 学



こんにちは。ユニオン投信の清水です。

株式投資信託のような「価格変動リスク」が大きい金融商品を活用する場合の「リスク回避・圧縮方法」として、「①リスクの分散」と「②時間の分散」があげられています。

今回は②について触れさせていただきます。よくFP(ファイナンシャル・プランナー)などの専門家や専門書籍では「ドルコスト平均法」という方法が説明されています。これはリスクを時間の分散によって出来得る限り抑えようとする方法です。

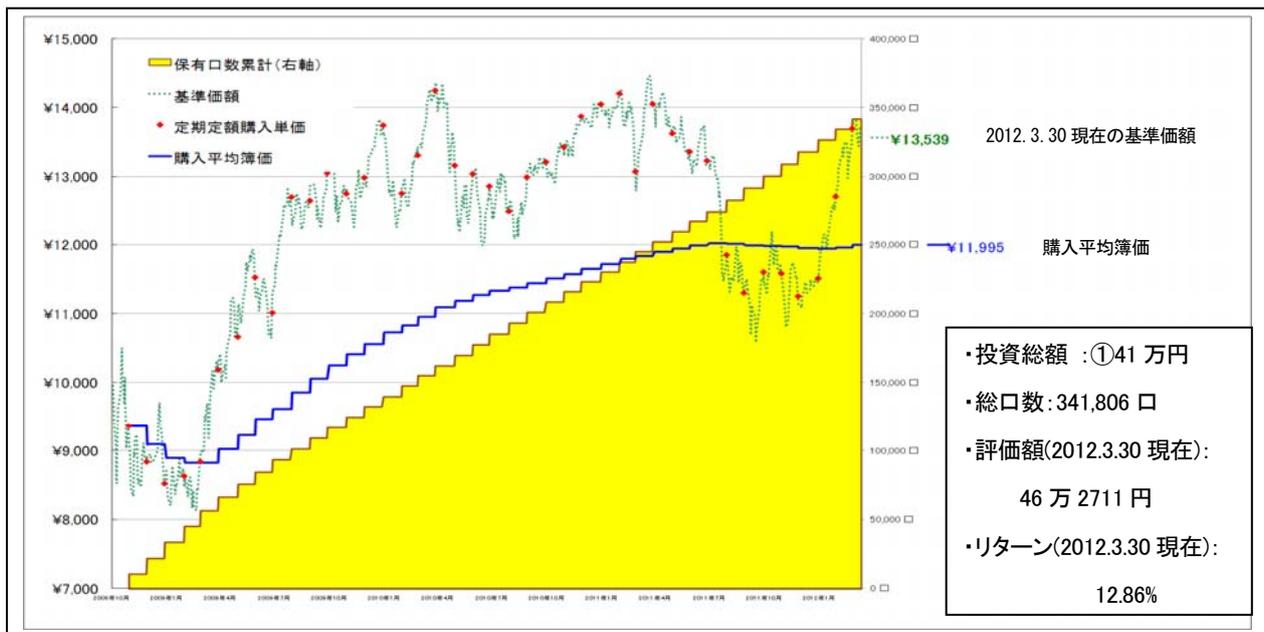
最近では「ドルコスト平均法」という小難しい言葉ではなく、「つみたて投資」という言葉が使われるようになってきています。ちなみに「つみたて投資」を全世界へ広めているのが『半値になっても儲かる「つみたて投資」(講談社+α新書)』の著者である星野泰平さんです。プロでも“目からウロコ”の検証結果もあるため、是非ともご購読いただきたいと思います。※弊社では「つみたて投資」=「定期定額購入」と呼んでいます。

このように「つみたて投資」の理解度が徐々に浸透してきたためか、弊社にも「ユニオンファンドのつみたて投資の実績は？」というご質問をいただくことが多くなりました。そこで、今回はあくまでも過去の実績ですが、2つのモデルケースで回答させていただきます(いずれも毎月1万円のつみたて投資)。

※2つのモデルケースの結果であり、「つみたて投資開始時期」や「つみたて投資期間」がお客様で異なること、過去の実績であること(=将来の運用成績を保証できることではないこと)、ユニオンファンドは運用開始日からの運用年数がまだ短いこと(4年弱)などを十分にご理解・ご考慮願います。

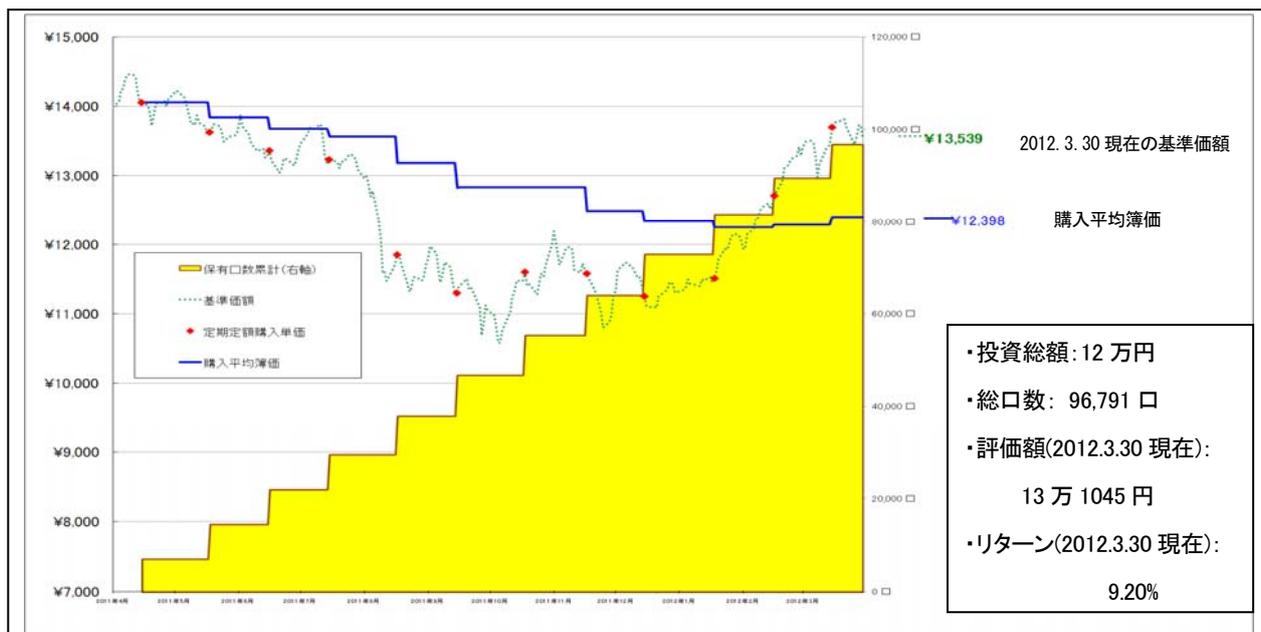
上記の前提条件(※部分)に基づく過去の実績ではありますが、“継続は力なり”という言葉こそ日常の生活や仕事における「人的資産づくり」のみでなく「金融資産づくり」にも当てはまるのではないのでしょうか？

ケース1:運用開始(つみたて投資の最初の運用開始月は2008年11月)~2012年3月末現在(累計3年5ヵ月)



◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

ケース2:直近1年間(2011年4月～2012年3月末現在)



平成 23 年 4 月 2 日記

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの方式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、**投資家の皆様の投資元金は保証されていないものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。**

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」などがあります。

『ユニオンファンド』の手数料

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

【申 込 手 数 料】 … お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

【換 金 手 数 料】 … ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

【信 託 報 酬】 … 総資産総額に年 0.84% (税抜き 年 0.8%) の率を乗じて得た額です。

毎日、当ファンドの投資信託財産より控除されます。

[実質的な信託報酬※ 信託財産の純資産総額に対して年 1.9%±0.3% (概算)]

※『ユニオンファンド』は他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。

【信託財産留保金】 … 信託財産留保金はありません。

【その他の費用】 … 『ユニオンファンド』に組み入れるファンドを売買する際に発生する売買手数料およびこれにかかる消費税に相当する額は投資信託財産より控除されます。

※実際の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

◆ 業務管理部よりお知らせ ◆

◆ 個別資産運用セミナーのご案内 ◆

「ユニオンファンド」と共に歩む“資産運用の道”

弊社では「ユニオンファンド」にて“資産運用”を実践されているお客様との“交流”と資産運用に対する“理解度の向上”、そして更なる“信頼関係”を築くことを目的として個別資産運用セミナーを企画し実践しています。

お客様から弊社に託されました大切な資産を、将来へ向けて大きく殖やすためには、どの様な運用方針で、どこで(国、地域、企業等)運用されているのか等々をしっかりと理解し、把握されることがとても重要でございます。

“個別資産運用セミナー”は、お客様のご要望によってどこでも開催致します。日時もお客様のご都合に合わせていただきます。(土日祝日も可能です)

(※ご遠方のお客様には日程を調整させていただく場合がございます。何卒ご了承下さい)

出張費用等のご負担は一切ございません。

ただし、お客様とお話ができる“場所”をご提供下さい。(土日祝日に限り弊社での開催も可能です。)

セミナーへのご参加は、お客様お一人様でも結構でございます。また、ご家族、お友達、ご近所の仲間の方々と一緒でも大歓迎でございます。

なお、当セミナーは「ユニオンファンド」を保有されていない方でもお申込みすることができます。

どうぞお気軽にお申し込み下さい。お待ちしております。

【お申込み先】 ユニオン投信株式会社 業務管理部

TEL: 0263-38-0725 e-mail: info@unionam.co.jp

“個別資産運用セミナー”は投資信託の勧誘を目的とするものではありませんが、セミナーの中で商品についての具体的な説明を行うことがあります。説明する投資信託は、主に値動きのある有価証券等に投資します。有価証券等は発行者の経営状況やそれに対する外部評価、外国為替相場等の変動により、投資元本を割り込むことがあります。ご投資にあたっては、必ず当該商品の「投資信託説明書(交付目論見書)」をよくご覧いただき、ご自身でご判断ください。

◆ 定期定額購入について ◆

毎月5日(休日の場合は翌営業日)にご指定いただきました金融機関口座より自動引落としされ、8営業日後の基準価額にて購入いたします。なお、“新規申込み”“各種変更”には、締切日がございます。締切日を過ぎて届出書類が弊社へ到着した場合には、ご希望される月からは反映されませんのでご注意ください。

定期定額購入スケジュール

引落開始月	新規申込み 引落口座変更 締切日	金額変更 引落中止 締切日	ご指定の金融機関 口座からの引落日	ファンドご購入日 (約定日)
平成24年5月	締切りました	4月17日(火)	5月7日(月)	5月17日(木)
6月	4月27日(金)	5月21日(月)	6月5日(火)	6月15日(金)

ご不明な点などがありましたら、弊社業務管理部(TEL:0263-38-0725)までご連絡ください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。